

令和4年度授業改善推進プラン【6年生】

教科	現状の課題	具体的な改善のための方策
国語	△文章の内容を正確に読み取ったり、伝えたい事柄を筋道立てて書き表したりすることが苦手な児童が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートのみまとめなどに自分の言葉で文を書く機会を多く確保する。要旨や感想をまとめることが難しい児童には、見本を提示し個別に対応する。</li> </ul>
社会	<p>△問題解決に向けて適切な資料を選択し、活用できる児童が少ない。</p> <p>△「調べたこと」を基に、どうしてそのような事象が起きて知ったのかの背景を考えることが難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の資料を提示し、その中から適切な資料を選択して情報を取り出したり、比較・関連付けたりする場面を授業の中に意図的に設ける。</li> <li>・「なぜそのようなことがあったのか」などグループで話し合わせる。そうすることで、他のメンバーの考えから自分の考えをもつための手立てとさせる。</li> </ul>
算数	<p>△自分の考えを表現することが苦手な児童が多い。</p> <p>△繰り上がり、繰り下がりや、掛け算九九など、基本的な計算が身に付いていない児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明がしやすくなるように、図や表を用いて整理してノートにまとめるように指導をする。</li> <li>・学び合いを増やすなど、友達と話し合う中で自分の考えを表現できる機会を増やす。</li> <li>・授業で取り扱う問題を精選し、基礎学力の向上を図る。</li> </ul>
理科	<p>△理科の学習で用いる言葉の意味を十分に理解しておらず、問われている事柄が分からず、プリントやテストに取り掛かれない児童が多い。</p> <p>△実験結果からの考察が感想にとどまっている児童もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で実物や動画や写真などを活用して、理解がしやすいように工夫する。</li> <li>・理科学的な用語の意味や使い方を繰り返し指導し、確実に理解できるようにする。</li> <li>・考察の型を示し、実験結果を踏まえて学習問題に沿った考察ができるようにする。</li> </ul>
音楽	△楽器などの技能面では、ねばり強く取り組むことが苦手な児童が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大楽譜やピックパットを活用し、演奏を分かりやすく提示して個人のつまずきに丁寧に対応していく。</li> </ul>
図工	△電動糸鋸の経験が少ないため、思い通りに切る技術習得に至っていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動糸鋸の使い方など、動画で使い方を確認し「12歳の木工デザイナー」の課題の前に電動糸鋸の技術向上を図る。</li> </ul>
体育	<p>△領域によっては、技能に個人差が大きい。</p> <p>△自分の実態を知り、適切な課題をもつ児童が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTや学習資料を活用し、児童が自分に合った課題や練習に取り組めるようにする。また、学び合いを深めるために、児童にアドバイスをする時の視点を与え、積極的にアドバイスをさせるようにする。</li> <li>・活動の内容に合わせて、児童に予想されるケガや必要なルールを具体的に考えさせ、安全やルールに対する意識を高める。</li> </ul>
家庭科	<p>△玉止めや玉結びができない児童がいる。</p> <p>△ミシンやアイロンなどの道具の使い方が分からず、適切に扱うことができない児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し、児童が視覚的に使い方を理解できるようにする。</li> <li>・活動前に、安全指導を含め、道具の使い方を入念に確認する。活動中は、ペアで確認し合いながら取り組ませる。</li> </ul>
外国語	△外国語を活用して意欲的にコミュニケーションを図ろうとする児童が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を通して扱う英単語の反復練習を充実させる。</li> <li>・リアルコミュニケーションを意図的に取り入れ、楽しみながらコミュニケーションをとることができるようにする。</li> </ul>